

科目区分	専門教育科目	科目名	保育実習Ⅱ		科目コード	22Y504	担当者	中村 浩美、織田 芳人、 本村 弥寿子、荒木 正平、 福井 昭史、南條 恵、 船勢 肇、山中 慶子、 高橋 秀樹			
対象学生	幼児教育学科 2年生	学期区分	通年		単位数	2	担当形態	複数			
		授業形態	実習								
科目		施行規則に定める科目区分又は事項等				卒業要件	選択				
						免許・資格要件	保育士選択必修				
科目の主題						学修成果との関連（大◎、中○、小△）					
保育実習Ⅰをふまえ、子どもの観察や関わり視点の明確にし、実践することを通して保育の理解を深める。保育所における子どもの保育および保護者の支援について総合的に学び、保育士としての自己の課題を明確にする。						1. 「 良心 」 誠実な人柄と人間力		2. 「 創造 」 高度な知性と創造力		3. 「 実践 」 明確な意思と実践力	
科目の到達目標						① 誠実性・真摯性	② 多様性・協働性	③ 知識・技能	④ 表現力・判断力	⑤ 実行力・自立性	⑥ 就業力・貢献力
1.	保育の方法や技術を実践しながら習得する					◎	◎	◎	◎	◎	◎
2.	責任を持ち、見通しをつけながら、仕事をすることができる					◎	◎	◎	◎	◎	◎
3.	自分の課題を見つけ、保育実践に活かすことができる					◎	◎	◎	◎	◎	◎
4.	子育てにおける保護者との連携の重要性を理解する					◎	◎	◎	◎	◎	◎
5.	保育者を目指す者として、今後の学習課題を明確にする					◎	◎	◎	◎	◎	◎
授業方法						成績評価の方法と割合					
学外実習（保育所 2年次9月に10日間）						提出物（20%） 受講態度（30%） 実習先の評価（50%）					
課題等への対応						授業外学修時間					
各実習担当教員が提出された課題・実習先からの評価・実習記録等を基に事前・事後指導を行う						60分					
回数	授業計画					学習課題（予習・復習）					
	<p>実習期間：2年次 9月 10日間</p> <p>1) 見学・観察実習/参加実習 保育実習Ⅰをふまえ、担当保育者の指導のもと、乳幼児の1日の生活の様子や保育者の関わり方をとらえる。さらに、保育に参加し、保育の補助をしながら、乳幼児と触れ合い、保育実践を経験することにより、実習保育所の保育の流れを理解する。</p> <p>a. 実習保育所について理解する。 実習園の保育方針や特色を理解する。また、1日の流れ及び施設・設備の状況について把握する。</p> <p>b. 乳幼児と触れ合う 乳幼児の様子を観察したり触れ合うことにより、乳幼児の年齢や発達状況を把握する。 乳幼児と保育者との関わりの様子を学ぶ。</p> <p>2) 部分実習/総合実習 担当保育者の指導のもとに、実習生が指導計画を立て、準備→展開→評価に至る保育活動を主体的に担当し、一般的な技術の習熟をはかるとともに保育者としての意識を高める。</p>					<ul style="list-style-type: none"> ・実習園事前訪問報告書の作成 ・実習課題の記入 ・園長講演会報告書の記入 ・実習報告書の記入 					
試験	定期試験を実施しない										
教科書	教育・保育実習の手引き これからの時代の保育者養成・実習ガイド				受講生へのメッセージ	保育実習は、あなたが目指している職業を実際に確認する機会でもあります。保育実習指導Ⅱで学んだ内容をふまえ、実りのある実習になるようがんばってください。					
参考書等	なし										